

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-164472

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月27日

A 24 D 1/10  
D 21 H 5/16

7235-4B  
7921-4L

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 巻きタバコ

⑯ 特 願 昭59-21220

⑰ 出 願 昭59(1984)2月7日

⑱ 発 明 者 加 瀬 良 三 旭市井戸野4476-3

⑲ 出 願 人 加 瀬 良 三 旭市井戸野4476-3

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1 発明の名称 巻きタバコ

2 特許請求の範囲

巻きタバコの巻き紙に、不燃性の物質を混入、又は貼り付けて  
燃えにくくし、これを巻きタバコの巻き紙に使用したタバコ。

3 発明の詳細な説明

本発明の目的は、タバコに依る火災の発生を減少させる事、  
又、放置された吸い掛けのタバコに依り発生する生の煙を  
なくして、他人に与える害を減少させる為のものである。  
その方法の1つとして、タバコの巻き紙に図面以示す様に  
帯状のアルミ箔を間を空けて貼り付けて全体を燃えにくくする  
構造を考えて試作、実験した。  
実験の結果としては、燃焼速度が著くなり、表面温度が下り  
煙の発生も減少した。又一定時間放置すると、自然に消火  
する為、火災発生の防止になる。

上記の実験の内容としては、0.05mmのアルミ箔を用い、  
タバコの表面に図面以示す様にアルミ箔を4~5mmの巾の帯状  
にし、4~5mmの間を空けて、ノリで貼り付け乾燥した。  
このタバコを自然燃焼させると、煙の量は普通のタバコの1/5  
程度で、3~5分位で自然消火する。  
ただし消火する前に吸えば、そのまま吸って吸うことができる。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の1例である、アルミ箔を利用した場合の  
実験に用いたタバコの斜視図である

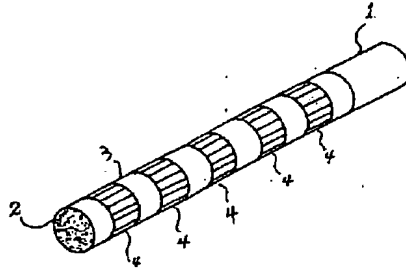
1.....フィルター

2.....タバコ

3.....巻き紙

4.....アルミ箔

第 1 図



BEST AVAILABLE COPY